

教員の公募について（依頼）

記

1. 部 局 名 人間発達科学部発達教育学科（教育心理コース）
2. 職名及び人数 准教授または講師 1名
3. 専 門 分 野 教育心理学（教育相談）
主な担当科目
(人間発達科学部) 教育相談，生徒指導論，性格心理学，健康心理学，教育心理学実験Ⅱ，教育心理学演習Ⅱ，臨床心理アセスメント，子どもとのふれあい体験*，臨床心理実習*，心理学基礎実験演習*，等（*は複数教員の担当による科目）
(人間発達科学研究科) 発達臨床心理学特論，発達臨床心理学特論演習，教育心理学研究法特論，等
(教養教育) 専門分野に応じた講義

※将来の組織改革に伴って，担当授業科目に変更が生じる可能性があります。

※人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター教育臨床研究部門の業務を担当していただく可能性があります。

4. 応募条件 当該領域に関して博士の学位，またはそれと同等の能力を有する

こと。大学院修士課程の授業・研究指導ができること

※平成28年度から教職大学院の設置が予定されています。平成30年度以降，教職大学院への異動が生じる可能性があります。

5. 住 所 採用後は，富山市またはその周辺に居住すること
6. 採用年月日 平成28年4月1日以降のできるだけ早い時期
7. 応募締切日 平成27年12月18日（金）必着
8. 応募書類

- (1) 履歴書（様式1）
（注）右肩に顔写真をはり付けること
- (2) 教育研究業績書（様式2）
（注）研究業績の作成に際しては，著書，学術論文（査読の有無を明記），総説・解説等，学会発表，その他に分類したうえで，それぞれ発表年月日の古い順に連番を付して記載すること。主要業績5編に関しては該当する連番を○印で囲むこと。共著・分担執筆については，実際に掲載された順番に名前を明記すること。
- (3) 全研究業績の実物（コピー可，各1部）
- (4) 主要業績5編の概要（各500字程度）
- (5) 現在までの教育・研究・社会活動等の主な成果（2,000字程度）
（注）実績の中に過去5年以内における競争的資金の獲得状況も記述すること
- (6) 着任後の教育・研究・社会活動等の抱負（2,000字程度）
- (7) 最終学歴の証明書（コピー不可）
- (8) 推薦書（無い場合は，応募者の業績・人物について照会できる方2名の氏名・所属・連絡先〔電話番号・メールアドレス等〕を記したもの）
- (9) 提出書類はA4判用紙で統一すること（研究業績の実物，推薦書はその限りでない），履歴書（様式1）及び教育研究業績書（様式2）については，紙媒体とCD-ROM等の電子媒体の両方を提出すること

※ 様式は、富山大学のホームページの教職員採用情報からダウンロードのこと

<http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>

提出書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外の目的には使用いたしません。

9. 応募書類提出先

〒930-8555 富山市五福 3190

国立大学法人富山大学人間発達科学部長 鳥海清司

封筒の表に「教育心理コース教員公募関係書類在中」と朱書きの上、簡易書留にて郵送のこと

10. 問い合わせ先

(1) 公募内容及び研究等について

〒930-8555 富山市五福 3190

国立大学法人富山大学人間発達科学部

小川 亮

TEL 076-445-6379

e-mail: gawagawa@edu.u-toyama.ac.jp

不在の場合は、人間発達科学部総務課 TEL 076-445-6251

(2) 給与等について

国立大学法人富山大学総務部人事企画課

TEL 076-445-6524

11. その他

(1) 選考の段階で面接並びに担当予定科目の模擬授業を実施する場合があります。その際の旅費等は、ご自身で負担願います。

(2) 必要に応じて、別途資料を提出していただくことがあります。

(3) 応募書類は原則返却しませんが、返却を希望する場合は、宛先を記した返信用封筒(料金分の切手又は着払いの伝票を貼付したもの)を同封してください。

(4) 本学では、従来の給与制度と併用して、平成27年度より年俸制を導入しております。本公募による採用の際にも、採用決定者が希望した場合には、年俸制を適用することが可能です。(希望されない場合は従来の給与制度を適用します。)

なお、制度の詳細につきましては、ご希望に応じて情報提供を行います。

(5) 富山大学では男女共同参画を推進し、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

文部科学省平成27年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の採択を受けて、出産・子育て・介護などのライフイベントのため、研究を中断した女性研究者の支援や、国際的視野に富む女性研究者の育成に取り組んでいます。

[富山大学男女共同参画推進室]

<http://www3.u-toyama.ac.jp/kyodoss/>